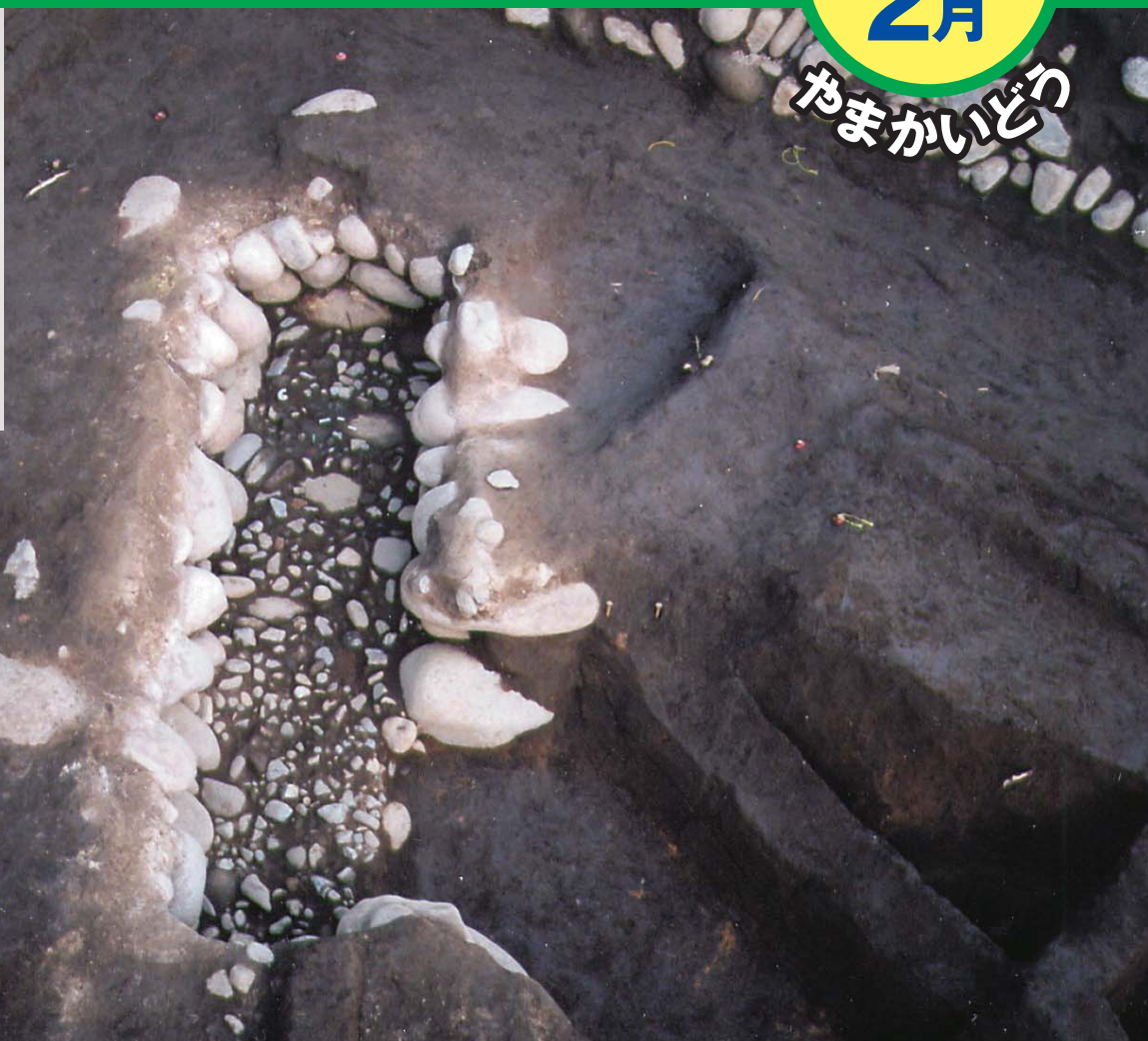




# 栃木県埋蔵文化財 センターだより

2007  
2月

かまがいどろ



特集

## 行ってみよう!

土器や石器が  
展示されている

## 博物館・資料館



▲ボクはヤヨ坊  
埋文センターのマスコットだよ。

県内の市町の埋蔵文化財情報  
2006年度 発掘現場レポート  
埋蔵文化財センターで研修をしています (キムさん)  
埋蔵文化財担当者研修会開かれる

▲足利市の国指定史跡藤本観音山古墳の北側隣接地(新宿遺跡)で確認された小型の竪穴式石槨です。  
滑石製の勾玉・管玉・白玉が出土し、5世紀後半と推定されます。  
調査状況から墳丘を持たない埋葬施設と考えられます。

# 特集 行ってみよう!

## 土器や石器が展示されている 博物館・資料館

県内で土器や石器など考古学に関係する資料を展示・収蔵している博物館や資料館について皆さんにご紹介します。小学6年生の社会科で歴史について初めて勉強しますが、皆さんの身近にはたくさんの施設がありますので、ぜひ、行って「本物」を自分の目で確かめてみましょう!

地区・名称・連絡先・開館時間・休館日・料金

### ●河内地区

- 1 栃木県立博物館**  
Tel 028-634-1312 時間:9:30~17:00  
休館日:月曜、祝日、振替休日の翌日、年末年始  
料金:一般250円、高校・大学生120円、小・中学生無料
- 2 うつのみや遺跡の広場**  
Tel 028-659-0193 時間:9:00~16:30(11月~3月は16:00まで)  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始 料金:無料
- 3 飛山城史跡公園 とびやま歴史体験館**  
Tel 028-667-9400 時間:9:00~17:00  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始 料金:無料
- 4 上河内町郷土文化保存伝習施設**  
Tel 028-674-3480 時間:9:00~17:00  
休館日:月曜、祝日、年末年始 料金:無料  
※平成19年3月31日から「上河内民俗資料館」に名称変更。



栃木県立博物館

### ●安足地区

- 5 佐野市郷土博物館**  
Tel 0283-22-5111 時間:9:00~17:00  
休館日:月曜、祝日の翌日、月末、年末年始 料金:無料(企画展開催時は有料)
- 6 佐野市ためふるさと館**  
Tel 0283-62-8080 時間:9:00~17:00  
休館日:なし 料金:無料
- 7 足利市郷土資料展示室**  
Tel 0284-42-7616 時間:13:00~16:00  
休館日:日曜、祝日、年末年始 料金:無料

### ●上都賀地区

- 8 日光市歴史民俗資料館**  
Tel 0288-22-6217 時間:9:00~18:00  
休館日:月曜、祝日、年末年始 料金:無料
- 9 日光二荒山神社宝物館**  
Tel 0288-55-0017  
時間:(4月~10月)8:00~17:00(11月~3月)9:00~16:00  
休館日:なし 料金:大人300円、小・中学生150円
- 10 鹿沼市文化活動交流館郷土資料展示室**  
Tel 0289-60-7890 時間:9:00~17:00  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始 料金:無料
- 11 鹿沼市立粟野歴史民俗資料館**  
Tel 0289-85-2259 時間:9:30~18:00  
休館日:月曜、祝日の翌日、資料整理日等  
料金:無料
- 12 西方町中央公民館文化財室**  
Tel 0282-92-0314 時間:8:30~17:30  
休館日:第3日曜、祝日、振替休日、年末年始  
料金:無料



鹿沼市立粟野歴史民俗資料館

見学に行くときには、事前に開館日時などを電話で確認してから行きましょう!また、センターのHPから各施設のHPIにいくことができるよ。見てみてね!



### ●下都賀地区

- 13 壬生町立歴史民俗資料館**  
Tel 0282-82-8544 時間:9:00~17:00(火曜13:00~17:00)  
休館日:月曜、祝日、年末年始 料金:無料(企画展開催時は有料)
- 14 都賀町立歴史民俗資料館**  
Tel 0282-27-5050 時間:9:00~17:00  
休館日:第3日曜・月曜、祝日、振替休日の翌日、月末、年末年始 料金:無料
- 15 栃木市郷土参考館**  
Tel 0282-24-2145 時間:10:00~16:00  
休館日:月曜(祝日の場合は火曜)、年末年始 料金:無料
- 16 星野遺跡記念館**  
Tel 0282-31-0366 時間:10:00~16:00 休館日:土・日曜、祝日  
料金:小学3年生以下は無料、小学4年生以上中学生まで100円、一般300円
- 17 星野遺跡地層たんけん館**  
Tel 0282-21-2742(文化課) 時間:9:30~16:30  
休館日:月曜(祝日の場合は翌日) 料金:無料
- 18 下野国庁跡資料館**  
Tel 0282-27-8900 時間:9:30~16:30  
休館日:月・火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/25~1/7) 料金:無料
- 19 下野市立テーマ館**  
Tel 0285-52-1179 時間:9:00~16:00  
休館日:月曜・火曜、年末年始 料金:無料
- 20 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館**  
Tel 0285-44-5049 時間:9:30~17:00  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始 料金:一般100円、高校・大学生50円、小・中学生は無料
- 21 下野薬師寺歴史館**  
Tel 0285-47-3121 時間:9:00~17:00  
休館日:月・第3火曜日、祝日の翌日(土曜・日曜の場合は除く)、年末年始 料金:無料
- 22 小山市立博物館**  
Tel 0285-45-5331 時間:9:00~17:00  
休館日:月・第4金曜、祝日の翌日(土・日を除く)、年末年始 料金:無料(企画展開催時は有料)

## ●塩谷地区

### 27 矢板市立郷土資料館

TEL 0287-48-2321 時間9:00~16:00  
休館日:土・日、祝日、年末年始 料金:無料

### 28 さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-

TEL 028-682-7123 時間9:00~17:00  
休館日:月・第3火曜、祝日の翌日、年末年始  
料金:一般300円、高校・大学生200円、小・中学生 100円

### 29 高根沢町歴史民俗資料館

TEL 028-675-7117 時間9:00~17:00  
休館日:月・第3日曜、祝日、年末年始 料金:無料



高根沢町歴史民俗資料館  
縄文遺場(石器づくり)

## ●那須地区

### 30 那須歴史探訪館

TEL 0287-74-7007 時間9:00~17:00  
休館日:月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始 料金:大人200円 小・中学生100円

### 31 那須塩原市那須野が原博物館

TEL 0287-36-0949 時間9:00~17:00  
休館日:月曜(祝日の場合は開館)、年末年始 料金:一般300円、小・中学生100円

### 32 栃木県立なす風土記の丘資料館 湯津上館

TEL 0287-98-3322 時間9:30~17:00  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始  
料金:一般100円、高校・大学生50円、小・中学生無料(小川館と共通)



那須歴史探訪館



那須烏山市  
南那須歴史民俗資料館

## ●南那須地区

### 33 栃木県立なす風土記の丘資料館 小川館

TEL 0287-96-3366 時間9:30~17:00  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始  
料金:一般100円、高校・大学生50円、小・中学生無料(湯津上館と共通)

### 34 那珂川町小川公民館文化財展示室

TEL 0287-96-2322 時間9:00~16:00  
休館日:土・日曜、祝日、年末年始 料金:無料

### 35 那珂川町馬頭郷土資料館

TEL 0287-92-1103 時間9:00~17:00  
休館日:月・第3日曜、祝日、年末年始 料金:無料

### 36 那須烏山市南那須歴史民俗資料館

TEL 0287-88-6223(生涯学習課) 時間9:00~16:00  
休館日:月・水・金・日曜(第2日曜を除く)、祝日、年末年始 料金:無料

### 37 烏山郷土資料館

TEL 0287-88-6223(生涯学習課) 時間9:00~16:00  
休館日:水・金・第3日曜、祝日、毎月1日、年末年始 料金:無料

## ●芳賀地区

### 38 益子陶芸美術館

TEL 0285-72-7555 時間:(4月~10月)9:30~17:00(11月~3月)9:30~16:00  
休館日:月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始等  
料金:一般、高校・大学生600円、小・中学生300円

### 39 芳賀町郷土資料館

TEL 028-677-0009(生涯学習課総合情報館推進係)  
時間:9:00~16:00 休館日:日・月曜、祝日、年末年始 料金:無料  
※平成20年10月(仮称)芳賀町総合情報館 開館予定

### 23 おやま縄文まつりの広場(寺野東遺跡)

TEL 0285-49-1151 時間:9:00~16:30  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始 料金:無料

### 24 大平町歴史民俗資料館・大平町郷土資料館「戸長屋敷」

TEL 0282-43-8686 時間:9:00~17:00(10月~2月までは16:30まで)  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始 料金:一般200円、小・中学生100円

### 25 藤岡町歴史民俗資料館

TEL 0282-62-4569 時間:9:00~16:30(土曜は正午まで)  
休館日:月曜、祝日の翌日、年末年始 料金:無料

### 26 野木町郷土館

TEL 0280-57-4188 時間:9:30~16:00  
休館日:土・日・月曜日、祝日、年末年始 料金:無料



下野国庁跡 前殿



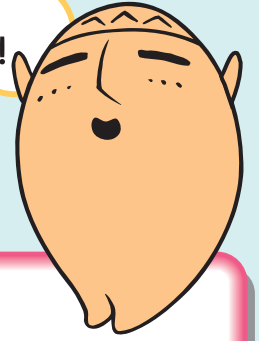
大平町歴史民俗資料館



益子陶芸美術館

# 市や町のコーナー

みんなも  
行ってみてね!



県内市町の発掘調査、整理報告書作成作業や現地説明会、史跡整備事業などについて、紹介いたします。

## 1 宇都宮市

宇都宮市は、市制110周年を迎え、今年3月25日には宇都宮城の土塁と櫓の復元工事が終了し、公開となります。これを記念して、とびやま歴史体験館では第4回企画展「宇都宮氏を支えた人・物・金」を開催します(1月30日～3月21日)。

中世の宇都宮氏と関係の深かった芳賀氏・益子氏・佐竹氏のほか、横田氏や塩谷氏などの宇都宮一族、そして陰で支えた女性たちについても紹介します。また宇都宮城跡からは、中国や高麗から運ばれてきた陶磁器や、常滑・瀬戸といった国内各所からの陶磁器が出土しています。これらの資料に基づいて、当時の宇都宮の物流や国内各所とのつながりを紹介します。さらに、市内唯一の金の産出地だった「篠井金山」にスポットを当てます。今も篠井地区に伝わる「金掘唄」には「佐竹奉行」が登場します。おそらく佐竹氏は、篠井の金山開発にも何らかの関わりを持っていたのでしょうか。



篠井金山(篠井村絵図:部分)

2月25日(日)には、地元の保存会の皆さんによる「金掘唄」の実演と「宇都宮氏を支えた人」と題した記念講演会(講師:荒川善夫氏)もおこないます。ぜひご来館ください。

お問い合わせ・講演会の申込み等は、とびやま歴史体験館で受け付けています。(宇都宮市教育委員会)

### とびやま歴史体験館

住所: 宇都宮市竹下町380-1 Tel: 028-667-9400  
休館日: 月曜日・祝祭日の翌日(土日の場合を除く)

## 2 小山市



水場遺構

寺野東遺跡は、小山市の東部にあります。ここでは田川・鬼怒川を臨む高台で、栃木県企業局による工業団地造成事業に伴う発掘調査事業が、1990年から5年間行われました。調査の結果、旧石器時代から平安時代までのムラや墓地であったことがわかりました。これらのうち、縄文時代の遺構が特に注目されました。

縄文時代の後期(今から約4,000年前頃)になると中期(約4,600年～4,300年前頃)の高台を中心につくられていたムラの規模は小さくなり、やや低いところに営まれるようになりました。この頃、水場遺構がつくられます。木の実のアク抜きを目的とした、水さらしの施設が見つかったことにより、谷の水を積極的に利用し始めたことがわかります。

後期前半約(約3,800年前頃)には巨大な環状盛土遺構がつくられます。これは後期前半から晩期前半まで約1,000年間かけて造られたものです。

晩期(約3,000年～2,300年前頃)になると、小川の中に大小規模の木組遺構がつくられます。大型の木組遺構は木の実のアクを取り除くための施設と考えられます。

このように、寺野東遺跡は縄文文化の水準の高さを実証した貴重な遺跡であったため、1995年11月8日に国史跡に指定されています。

寺野東遺跡は2004年10月30日に復元整備事業が終了し、『おやま縄文まつりの広場』として開園しました。史跡は遺構が実物大に復元され、併設された資料館には出土遺物やDVDを用いた遺跡の解説が行われています。ぜひ、一度ご来園ください。(小山市教育委員会)



資料館内全体木組遺構模型

### 3 下野市



丸塚古墳 (東から)

下野市では平成16年度から下野国分寺周辺に築造された古墳時代後期から終末期にかけての大型の古墳の発掘調査を実施しています。

今年度は、国分寺周辺の首長墓で一番新しいと考えられる丸塚古墳の発掘調査を実施しました。丸塚古墳は、栃木県の史跡に指定されています。これまでの調査により、墳丘測量及び周溝部分のトレンチ調査が実施されました。これらの発掘調査の成果で周溝の規模と埋葬施設の横穴式石室の規模は判っていましたが、墳丘第二段目の規模等が不明だったので墳丘二段目の調査と石室南側の前庭部等の調査を実施しました。

今回の発掘調査により確認されたことは、古墳の墳丘二段目の直径は、これまで約38mと考えられていましたが、約42mとやや大きくなり、古墳一段目の直径は58m、周溝を含めた全体の大きさは直径92mということが判明しました。また、石室の構造については、石室のみでなく、石室の前に河原石を積んだ前室か羨道(墓道)が存在していたことが新たに判りました。

出土遺物は、玄室内からガラス製の小玉及び刀子が発見されたのみで、この古墳に伴うと考えられる土器類はほとんど出土しませんでした。

築造時期については、埴輪を伴わない大型の円墳であることから7世紀の前半と考えられます。(下野市教育委員会)



現地説明会の様子

### 4 足利市



伝北条時子姫五輪塔

足利市には源姓足利氏ゆかりの寺社・遺跡が数多く残されています。その一つである法玄寺は、足利氏二代目義兼の妻・北条時子の菩提寺で、その供養のために作られたと伝えられる五輪塔(足利市指定重要文化財 伝北条時子姫五輪塔)があります。

五輪塔は台座も含めて高さ約2mで、鎌倉時代中期と推定される凝灰岩製のものです。

大谷石に代表される凝灰岩は軟らかく加工が容易な反面、もろく風化しやすい性質があります。本五輪塔についても長年の風雨による影響などで各所に剥落やヒビ割れがみられ、そのまま放置すると倒壊する恐れがあったことから、緊急な保存処理が必要となりました。そこで、埋蔵文化財センター・車塚主査の指導により、石材強化剤への浸漬や、ヒビ割れ箇所への樹脂充填と表面処理、剥落



郷土資料展示室での五輪塔保存処理作業の様子

した石片の貼り付けなどの保存処理を実施しています。

史跡榊崎寺跡は足利義兼により創建されたと伝えられる中世寺院の遺跡です。昭和59年からの発掘調査で浄土庭園や堂塔跡などが確認され、平成13年1月に国の史跡に指定されました。平成13年度から保存整備事業として発掘調査、公有化等を進め、平成17年度には保存整備第1期として山麓建物群の遺構整備工事に着手しました。今年3月には、発掘調査の現場説明会を開催する予定です。(足利市教育委員会)

# 2006年度 発掘現場 レポート

県内の各地で  
発掘しています。



県内の発掘調査している現場から、最新の情報をご紹介します。  
発掘現場を見かけたらどうぞ声を掛けてくださいね。

## 1 すげ た 菅田古墳群 (足利市)



横穴式石室の実測作業 (30号墳)

菅田古墳群の発掘調査も大詰めを迎えています。古墳の盛り土は全て取り除き、死者を納めた横穴式石室がむき出しになりました。今後は、石室の調査が主な仕事になります。石室は、大小の割り石を巧みに積み上げて造られています。それらを1つ1つ計測して、図面に写し取ってゆきます。狭い場所でのきゆう屈な作業が続きますが、石材の組み方をつぶさに観察していると、古代の人々の優れた土木技術に驚かされます。図面ができると、上部から順番に石材を取り除き、石室を解体してゆきます。砂岩の天井石は、ときには3トン近い重さがあります。ですから造園の専門家に依頼してはずしてもら

のです。丸太でやぐらを組み、鎖と滑車で慎重につり上げてゆきます。石材を取り去って安全になれば、いよいよ、床面の調査に着手します。どのような遺物が横たわっているのか、はやる気持ちを抑えて、慎重に掘り下げてゆきます。



天井石をつり上げているところ (27号墳)

## 2 し じゅうはち づか 四十八塚古墳群 (佐野市)

四十八塚古墳群では北関東自動車道建設に先立つ調査が平成17年度から行われていましたが、調査が進むにつれて、発見された古墳の内容が明らかになってきました。

古墳は17基発見されましたが、このうち埋葬施設が発見されたのが6基で、いずれも横穴式石室でした。

横穴式石室とは、入り口を開け閉めすることによって、何回も埋葬ができるようにした施設です。もともと古墳は1人の有力者のために作られたものですが、古墳時代の後半になると、より多くの人が古墳にほうむられるようになりました。

写真の横穴式石室は、四十八塚古墳群の中で最大のもので、付近で産する石灰岩を使用しています。中央の石のない部分が室内で、写真上方が入り口側で、下方が奥側です。天井や壁の上半分は失われています。遺体を安置する部分の長さは4m以上あり、人骨も多数発見されています。奥側からは首飾りに使われた管玉、鉛でできた耳飾りが、その少し入り口側からは鉄の刀が出土しており、埋葬されたひとが身につけていたと考えられます。矢の先に付けられた鉄のやじりは、散乱した状態で出土しましたが、これは矢を納めていた入れ物が腐ってなくなったためと考えられます。



四十八塚古墳群 横穴式石室 (北から)

# 3

## なかうち 仲内遺跡 (日光市)



① 縄文土器出土状況

日光市湯西川にある仲内遺跡では、湯西川ダム建設に先立って発掘調査を行いました。

この遺跡は、縄文時代中期後半(今から4,500~4,000年前)のムラの跡で、食料を貯蔵した穴(貯蔵穴)や住居跡が多数発見されました。

貯蔵穴は使用した後、土器捨て場として利用されることがあります。①の写真の縄文土器は、そのようにして捨てられた土器です。半分に裂いた竹を用いて、全面に線を引いて文様を描いています。これはこの頃の新潟県の土器と非常によく似ています。

②の写真は、住居の中心に作られた炉(囲炉裏)の跡です。三角形に石を組み、頂点の部分に、縄文土器を埋め込んだ、大変立派なものです。この形の炉は、福島県を中心に広く東北地方にみられます。

湯西川の山向こうは南会津地方です。仲内遺跡の人々は、南会津地方を通じて、東北地方や北陸地方と深い交流を持っていたことが判ります。



② 炉跡全景

# 4

## すな た 砂田遺跡 (宇都宮市)

砂田遺跡は宇都宮市南部の通称「インターパーク」内に位置します。平成6年度から東谷・中島地区の土地区画整理事業に伴い、断続的に発掘調査がおこなわれてきました。これまでの調査の結果、古墳時代から奈良・平安時代までの大規模なムラがあったことがわかりました。

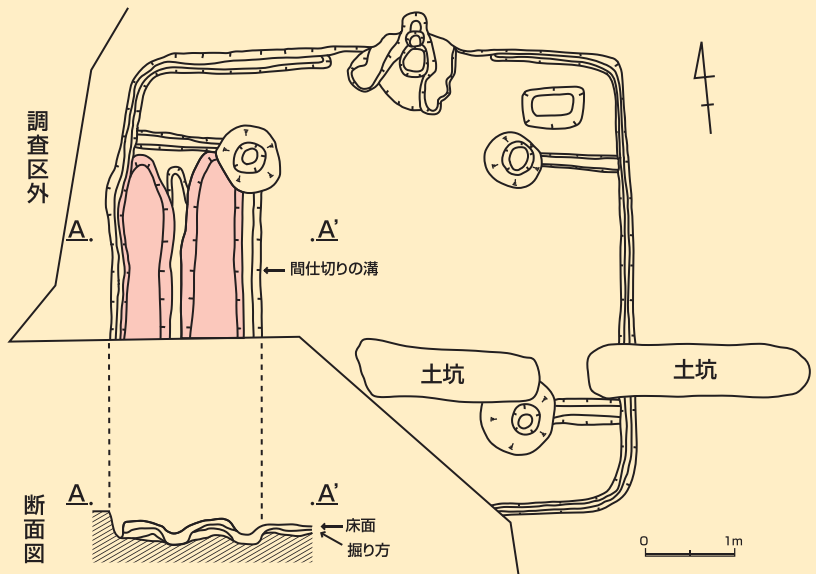
写真は砂田遺跡30区で確認された古墳時代後期(6世紀頃)の竪穴住居跡です。この家には4本の柱があり、そのうちの西側の2本を結んで間仕切りの溝が掘られています。さらにこの溝の西側には、壁と溝に平行する方向の2条の高まりが確認されました(図中の赤色部分)。これは住居の一画を床面より高くする「ベッド状遺構」の一種とされます。一般的には高まりを平坦にする例が多いのですが、本例は少し変わっています。写真は使い方を復元して、作業員さんに寝てもらいましたが、少し窮屈そうですね。



住居内 高まり部分アップ(東から)



竪穴住居完掘状況 (南から)



実測図



キムさん

カンボジアからの  
研修生

# サンナン キムさん 紹介

11月1日よりカンボジア国からの研修生 サンナン キムさんが、当センターにおいて研修をしています。そこで今回は、キムさんの紹介を兼ねてインタビューをしました。

**Q.** キムさんは、カンボジアでは世界遺産であるアンコールワットやアンコールトムを含むアンコール遺跡群の保護・管理などの仕事をしているそうですが、なぜこの仕事に就こうとしたのですか？

**A.** 世界遺産などは、その遺跡の範囲がとても広いので、GIS(地図情報システム)を利用して範囲を特定したり、現状を把握し、その遺産を守るための意志決定ができるからです。

**Q.** アンコール遺跡群では、主にどんな仕事をしているのですか？

**A.** 遺跡の地図作成とその情報に基づくデータベース化とリーフレットなどの作成のほか、古い遺跡を探し出します。

**Q.** どうして、日本に来ることになったのですか？

**A.** 遺跡を発見したり、保存する方法や、保護を図る方法、修復などの技術等を勉強してカンボジアの遺跡の保護に役立てるためです。

**Q.** いつ日本に来たのですか？

**A.** 2004年の7月に初めて日本に来ました。今回は2006年9月に来ました。今度で2回目です。

**Q.** 日本の生活は、いかがですか？

**A.** カンボジアは暖かいが、栃木県はちょっと寒い。日本の食物は何でもとてもおいしいが、苦手なものもあります。たとえば納豆などです。

**Q.** 埋蔵文化財センターでの研修は、充実していますか？

**A.** センターでの研修は、とてもおもしろいです。たとえば、発掘現場での図面作成、写真撮影、トータルステーション(レーザーを用いた三次元測量)やレベリング(高低の測量)、トランシット(距離測定機器)の操作です。また、センター内では土器の接合、復元、拓本、コンピューターを用いたトレース(図面描画)、遺跡のデータベース作成をしています。その他、史跡の整備がなされた遺跡の見学などを行っています。



小野調査官

## 埋蔵文化財担当者研修会が開かれました

さる12月13日に文化庁文化財部記念物課の小野健吉主任文化財調査官を講師に、平成18年度の埋蔵文化財担当者研修会が開かれました。県内各市町の担当者、埋蔵文化財センター職員と合わせると60名近くの参加者がありました。先生からは『史跡等の整備』について全国各地の史跡の整備状況の写真をもとに、整備の目的や進め方など具体的なお話をいただきました。

編集後記

今回の号の特集については県内各市町の文化財担当者や博物館・資料館の方々にお世話になり、一覧を作成することができました。それぞれの施設には地元で発掘された遺物が展示されていますので、ぜひとも考古学ファン、小・中学生、先生方や地域の皆様に足を運んでいただければと思っています。これからも県内各市町の発掘、史跡の整備事業、企画展などの普及活動等について取り上げていきたいと思っておりますので何かありましたらセンター普及事業担当までご連絡をくださいますようお願いいたします。

発行 栃木県教育委員会

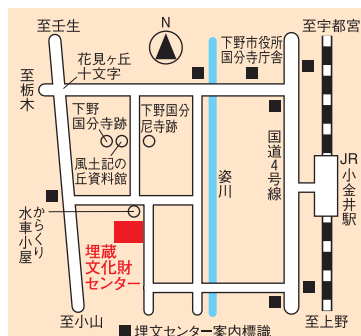
宇都宮市埜田1-1-20 TEL.028(623)3425  
平成19年2月21日発行

編集 財団法人とちぎ生涯学習文化財団

埋蔵文化財センター

〒329-0418 栃木県下野市紫 474  
TEL.0285(44)8441(代) FAX.0285(44)8445  
E-mail webmaster@maibun.or.jp  
URL http://www.maibun.or.jp/

印刷 ヤマゼン コミュニケーションズ(株)



《埋蔵文化財センターへのご案内》

- JR小金井駅から  
約4km、車で約10分
- 東武壬生駅から  
約6km、車で約15分
- 東武栃木駅から  
約9km、車で約20分